

教科名	技術・家庭科	校 種	中学校
-----	--------	-----	-----

科 目 の 配 当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など、授業の形態
1 年	技術・家庭	必	2	講義、実験、実習によって展開 実習は教員1名、助手1名で実施
2 年	技術・家庭	必	2	講義、実験、実習によって展開 実習は教員1名、助手1名で実施
3 年	技術・家庭	必	1	講義、実験、実習によって展開 実習は教員1名、助手1名で実施

科目名（教科名）		技術・家庭（技術・家庭科）			
担当教員		平尾 三和子			
学年	1	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を学ぶ。

■ 授業計画

学 期	授業の項目	内容のポイント
1 学期	<技術・家庭分野><ガイダンス> <技術分野> 第5章 情報に関する技術 <家庭分野> A 家族・家庭と子どもの成長 第1章 家族と家庭生活	・ 中学生としての自己の生活の自立を図る ・ コンピュータの基本 ・ コンピュータによる計測と制御 ・ 情報に関する技術と将来の課題 ・ 家族のこと、家庭の生活を考えてみよう ・ 家族のかかわりとコミュニケーション ・ 家庭と地域のつながり ・ 家庭生活を支える施設・サービス・活動 ・ 将来の自分の家族や家庭
2 学期	C 衣生活・住生活と自立 第2章 わたしたちの住生活 第3章 生活を豊かにする工夫 B 食生活と自立 第1章 健康と食生活 第2章 献立作成と食品の選択	・ 住まいのはたらき、家族の生活と住まい ・ 安全な住まい方、健康を守る住まい方の工夫 ・ 住宅の設計 （クライアントの要望をかなえる家の設計とプレゼンテーション） ・ 生活の課題と実践 ・ 食生活を考えよう ・ 栄養素の種類とはたらき ・ 食品に含まれる栄養素 ・ 1日分の献立作成 ・ 調理の基礎
3 学期	第3章 日常食の調理と地域の食文化	・ 食品の選択と購入 ・ つくってみよう（調理実習） だしの取り方・主食の調理・主菜の調理 副菜の調理・汁物の調理 ・ 地域の食材をみつめよう ※生徒の実態に応じて内容、進度が変更されることがある
評価の方法と割合	●評価方法：定期試験（学期1回）と平常点（提出物・実習・実験態度など）で各学期の成績を算出する。 ●割合：定期試験50%、平常点50%として各学期の成績を算出する。	
教科書・副教材	●教科書：技術・家庭 「家庭分野」（教育図書） ●副教材：なし	

科目名（教科名）		技術・家庭（技術・家庭科）			
担当教員		山本 美命			
学年	2	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を学ぶ。

■ 授業計画

学 期	授業の項目	内容のポイント
1 学期	<技術分野> 第2章 エネルギー変換に関する技術	・ エネルギーを取り出す技術 ・ 電気エネルギーの利用 ・ 電気回路のはたらき ・ これからのエネルギー変換 ・ エネルギー変換を利用したものづくり
2 学期	<家庭分野> D 身近な消費生活と環境 第1章 わたしたちの消費生活 第2章 家庭生活と環境 <技術分野> 第3章 生物育成に関する技術 第2章 材料と加工に関する技術	・ いろいろな買い物方法 ・ 買い物の法律的な意味、社会的な意味 ・ 消費者トラブルの解決 ・ 持続可能な社会をめざして ・ 生物育成の技術 ・ 簡単な野菜づくり ・ 生物育成と環境・社会とのつながり ・ アイディアを生かす製品の設計 ・ 身近な材料で簡単なものづくり
3 学期	第2章 材料と加工に関する技術	・ 身近な材料の特徴 ・ 強さを高める構造 ・ 工具の特徴と加工 ・ 木材、金属を使った簡単なものづくり ※生徒の実態に応じて内容、進度が変更されることがある
評価の方法と割合	●評価方法：定期試験（学期1回）と平常点（提出物・実習・実験態度など）で各学期の成績を算出する。 ●割合：定期試験50%、平常点50%として各学期の成績を算出する。	
教科書・副教材等	●教科書：技術・家庭 「技術分野」（教育図書） ●副教材：家庭科ワークノート D身近な消費生活と環境（地域教材社）	

科目名（教科名）		技術・家庭（技術科・家庭科）			
担当教員		池上 弘枝			
学年	3	単位数	1	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して，生活と技術とのかかわりについて理解を深め，進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を学ぶ。

■ 授業計画

学 期	授業の項目	内容のポイント
1 学 期	<家庭分野> C 衣生活・住生活と自立 第2章 わたしたちの衣生活 第3章 生活を豊かにする工夫	・製作実習の基礎 （ミシン縫いの基礎、巾着袋の製作） ・生活の課題と実践
2 学 期	<家庭分野> C 衣生活・住生活と自立 第3章 生活を豊かにする工夫	・染色について知る （様々な染色を知る） （簡単な染色の体験） ・日常着の製作
3 学 期	D 身近な消費生活と環境 第1章 わたしたちの消費生活 C 衣生活・住生活と自立 第3章 生活を豊かにする工夫 A 家族・家庭と子どもの成長 第2章 幼児の生活と家族	・持続可能な社会をめざして ・かぎ針編みの基礎 （環境にやさしい暗いの実践） （エコたわしの製作） ・幼児の心身の発達、幼児の生活の特徴 ・幼児の生活習慣、幼児と遊び、幼児の発達と遊び ・幼児の遊びを支える、幼児とのふれ合い ※生徒の実態に応じて内容、進度が変更されることがある
評価の方法と割合	●評価方法：定期試験（学期1回）と平常点（提出物・実習・実験態度など）で各学期の成績を算出する。 ●割合：定期試験50%、平常点50%として各学期の成績を算出する。	
教科書・副教材等	●教科書：技術・家庭 「家庭分野」「技術分野」（教育図書） ●副教材：なし	